

昭和 57 年 度 (1982)

研 究 会 会 誌

第 7 号

八 戸 工 業 大 学

一 般 教 育 部

目 次

1.	ドイツ語不変化詞 “eben” の意味の種々相	大木 実	1
2.	“Grenzsituation” としての “das Lieben” に関する一考察 —— 高村光太郎と智恵子の場合を手がかりにして ——	加澤 恒雄	19
3.	数学における教育指導の実践	尾崎 康弘	31
4.	化学実験報告書にみる科学的思考力について	川守田芳朗	41
5.	ローレンス・オリヴィエ映画出演『オセロ』のシナリオ分析	岩崎 光洋	49
6.	リルケの風景	水沼 和夫	71
7.	ドイツ語教授法について	小林 繁吉	83
	—— 言語学との関連における理論的考察の可能性 ——		
8.	一般教育部コロキウムテーマ（第7回～第17回）		97
9.	編 集 後 記		99

編 集 後 記

昭和57年度八戸工業大学一般教育部研究会会誌第7号をお届けします。

47年に大学が開学してちょうど10年、49年度に一般教育部文科体育系研究会会誌第1号が出て8年が経ち、52年度3号から文科・体育に加えて理系も参加し、一般教育部全体を挙げて発行することになり、5年の歳月が流れ第7号を数えることになりました。昨年度、八戸工業大学紀要第一巻が刊行され、一般教育部研究会会誌としての性格付けも、独自に考えていかなければならないという状況になってきたと思われます。この会誌は、一般教育部の諸先生方自らの手で作っていくべきものだと思います。性急に結論を出すのは慎まなければなりません、徐々に会誌の性格・目的について意見の一致が得られる様になり、更に、時間をかけて内容を充実させていくのが望ましいあり方の様に思われます。

ともあれ、年度内に諸先生方のお手許にお届けできますことは編集委員一同の喜びとするものです。掲載方法等その他について不備な点が多々あるとは思いますが、会員の皆様の御叱正を賜わりまして、次号より更に充実した会誌づくりのために役立てていきたいと思っております。今後とも会員の先生方には多大の御協力をお願いする事になると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

粉雪の舞い散る大開にて。

昭和58年（1983年）2月

編集委員長	加 澤 恒 雄
編 集 委 員	岩 崎 光 洋
〃	小 林 繁 吉
〃	関 川 久 男

研究会会誌

発行 昭和58年3月20日
編集 八戸工業大学一般教育部
編集責任者 加澤恒雄
印刷 博文印刷
電話 88 - 3978

